



Handwritten mark or signature on the right side of the page.

Small handwritten mark at the bottom right of the page.

茶のうらの婦人  
 布多たぬの細し  
 一のうらひのうら  
 ちねのうらひの  
 うらひのうらひ  
 ちねのうらひの  
 うらひのうらひ

本  
4304  
巻 1

おのゝとていふこと  
もなほあつたて  
魚考のよゝみ  
まゝに古事記  
万葉子歌あはれ  
あはれか〜

序

あはれか〜  
あはれか〜  
あはれか〜  
あはれか〜  
あはれか〜  
あはれか〜  
あはれか〜  
あはれか〜  
あはれか〜  
あはれか〜





五十七 〇二  
 五十八 〇二  
 五十九 〇二  
 六十 〇二  
 六十一 〇二  
 六十二 〇二  
 六十三 〇二  
 六十四 〇二  
 六十五 〇二  
 六十六 〇二  
 六十七 〇二  
 六十八 〇二  
 六十九 〇二  
 七十 〇二  
 七十一 〇二  
 七十二 〇二  
 七十三 〇二  
 七十四 〇二  
 七十五 〇二  
 七十六 〇二  
 七十七 〇二  
 七十八 〇二  
 七十九 〇二  
 八十 〇二  
 八十一 〇二  
 八十二 〇二  
 八十三 〇二  
 八十四 〇二  
 八十五 〇二  
 八十六 〇二  
 八十七 〇二  
 八十八 〇二  
 八十九 〇二  
 九十 〇二  
 九十一 〇二  
 九十二 〇二  
 九十三 〇二  
 九十四 〇二  
 九十五 〇二  
 九十六 〇二  
 九十七 〇二  
 九十八 〇二  
 九十九 〇二  
 百一 〇二  
 百二 〇二  
 百三 〇二  
 百四 〇二  
 百五 〇二  
 百六 〇二  
 百七 〇二  
 百八 〇二  
 百九 〇二  
 百一十 〇二

〇三  
 〇四  
 〇五  
 〇六  
 〇七  
 〇八  
 〇九  
 一〇  
 一一  
 一二  
 一三  
 一四  
 一五  
 一六  
 一七  
 一八  
 一九  
 二〇  
 二一  
 二二  
 二三  
 二四  
 二五  
 二六  
 二七  
 二八  
 二九  
 三〇  
 三一  
 三二  
 三三  
 三四  
 三五  
 三六  
 三七  
 三八  
 三九  
 四〇  
 四一  
 四二  
 四三  
 四四  
 四五  
 四六  
 四七  
 四八  
 四九  
 五〇  
 五一  
 五二  
 五三  
 五四  
 五五  
 五六  
 五七  
 五八  
 五九  
 六〇  
 六一  
 六二  
 六三  
 六四  
 六五  
 六六  
 六七  
 六八  
 六九  
 七〇  
 七一  
 七二  
 七三  
 七四  
 七五  
 七六  
 七七  
 七八  
 七九  
 八〇  
 八一  
 八二  
 八三  
 八四  
 八五  
 八六  
 八七  
 八八  
 八九  
 九〇  
 九一  
 九二  
 九三  
 九四  
 九五  
 九六  
 九七  
 九八  
 九九  
 百一  
 百二  
 百三  
 百四  
 百五  
 百六  
 百七  
 百八  
 百九  
 百一十



うはぎみ	ナ	うはなり	ナ	うはぎ	ナ	うばら	ナ	うはらう	ナ
うぶすな	ナ	うね	ナ	うぶい	ナ	うへ	ナ	うまい	ナ
うまぼろ	ナ	うまがで	ナ	うまびや	ナ	うま	ナ	うませ	ナ
うまわり	ナ	うまのう	ナ	うまのこの	ナ	うみち	ナ	うみべた	ナ
うむ	ナ	うむつき	ナ	うむぎ	ナ	うらな	ナ	うらな	ナ
うらやま	ナ	うら	ナ	うらく	ナ	うらなれ	ナ	うらな	ナ
うらめく	ナ	うらま	ナ	うらば	ナ	うららみ	ナ	うらな	ナ
うらまびて	ナ	うらがき	ナ	うらみ	ナ	うらけ	ナ	うら	ナ
うら	ナ	うら	ナ	うら	ナ	うら	ナ	うら	ナ
うら	ナ	うら	ナ	うら	ナ	うら	ナ	うら	ナ

○江

えのみ	ナ	えが	ナ	えたり	ナ	えたり	ナ	えみ	ナ
え	ナ	え	ナ	え	ナ	え	ナ	え	ナ

○柱

たい	夏	た	夏	た	夏	た	夏	た	夏
おきそ	百	おき	百	おき	百	おき	百	おき	百
おくら	百	おくら	百	おくら	百	おくら	百	おくら	百
おびま	百	おび	百	おび	百	おび	百	おび	百
おこせ	百	おこ	百	おこ	百	おこ	百	おこ	百
おせ	百	おせ	百	おせ	百	おせ	百	おせ	百
おせ	百	おせ	百	おせ	百	おせ	百	おせ	百
おせ	百	おせ	百	おせ	百	おせ	百	おせ	百
おせ	百	おせ	百	おせ	百	おせ	百	おせ	百







































ぬき	百ナ	ぬきす	百ナ	ぬく	百ナ	ぬき	百ナ	ぬ	百ナ
ぬきま	百ナ	ぬで	百ナ	ぬな	百ナ	ぬのきぬ	百ナ	ぬき	百ナ
ぬま	百ナ	ぬま	百ナ	ぬき	百ナ	ぬき	百ナ	ぬき	百ナ
ぬきまぬ	百ナ								

〇 祢

ね	百ナ	ね	百ナ	ね	百ナ	ね	百ナ	ね	百ナ
祢ぢ	百ナ	祢ぢ	百ナ	祢ぢめ	百ナ	祢ぢら	百ナ	祢ぢ	百ナ
祢ぢけ人	百ナ	祢つこ	百ナ	祢ぢ	百ナ	祢ぢら	百ナ	祢ぢ	百ナ
祢ぢのた	百ナ	祢ぢけ	百ナ	祢ぢの	百ナ	祢ぢら	百ナ	祢ぢ	百ナ
祢ぢ	百ナ								

〇 能

の	百ナ	の	百ナ	の	百ナ	の	百ナ	の	百ナ
のき	百ナ	のき	百ナ	のき	百ナ	のき	百ナ	のき	百ナ
のきた	百ナ								

のす	百ナ	のせ	百ナ	のぢ	百ナ	のた	百ナ	のぢ	百ナ
のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ
のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ
のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ
のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ	のぢ	百ナ

波比不返保の部

〇 波

は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ
は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ
は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ
は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ
は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ	は	百ハ





ふみ	百母オ	ふみかへる	百母タ	ふみき	百母オ	ふみ	百母オ	ふみ	百母オ
おろ	百母オ	おろ	百母タ	おろ	百母オ	おろ	百母オ	おろ	百母オ
ふむ	百母タ	ふむ	百母オ	ふむ	百母オ	ふむ	百母オ	ふむ	百母オ
ふむ	百母オ	ふむ	百母タ	ふむ	百母オ	ふむ	百母オ	ふむ	百母オ
ふむ	百母オ	ふむ	百母タ	ふむ	百母オ	ふむ	百母オ	ふむ	百母オ
ふむ	百母オ	ふむ	百母タ	ふむ	百母オ	ふむ	百母オ	ふむ	百母オ

○開

へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ
へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ
へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ
へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ
へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ

○本

へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ
へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ
へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ
へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ
へ	百母オ	へ	百母タ	へ	百母オ	へ	百母タ

不き	百母オ	不き	百母タ	不き	百母オ	不き	百母タ
不き	百母オ	不き	百母タ	不き	百母オ	不き	百母タ
不き	百母オ	不き	百母タ	不き	百母オ	不き	百母タ
不き	百母オ	不き	百母タ	不き	百母オ	不き	百母タ
不き	百母オ	不き	百母タ	不き	百母オ	不き	百母タ

海英武米毛の部

○海

ま	百母タ	ま	百母オ	ま	百母タ	ま	百母オ
ま	百母オ	ま	百母タ	ま	百母オ	ま	百母タ
ま	百母オ	ま	百母タ	ま	百母オ	ま	百母タ
ま	百母オ	ま	百母タ	ま	百母オ	ま	百母タ
ま	百母オ	ま	百母タ	ま	百母オ	ま	百母タ















引書畧名

古	古事記	日	日本紀	釋日	釋日本紀	續日	續日本紀
後紀	日本後紀	續後紀	續日本後紀	式	延喜式	祝	延喜式
万	万葉集	菅方	菅家万葉集	新字	新撰字鏡	和	和名抄
江次	江家次第	古拾	古語拾遺	靈	靈異記	古今	古今集
後	後撰集	拾	拾遺集	後拾	後拾遺集	金	金葉集
詞	詞花集	千	千載集	新古	新古今集	新勅	新勅撰集
續後	續後撰集	續詞	續詞花集	堀首	堀川院百首	源	源氏物語
伊	伊勢物語	文	文選	仙	庭仙窟		

此餘諸書名ハ全ク舉

